

燕市 女性の活躍プロジェクトチーム

活動☆つばめこまち応援隊

活動報告書

～ 提言のその後を中心に ～

2022年3月
活動☆つばめこまち応援隊

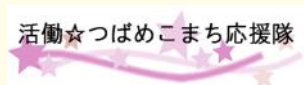
活動☆つばめこまち応援隊

燕市「女性が輝くつばめプロジェクト推進事業」の一環として、2016年に市内事業所の女性従業員と市役所の女性職員で結成した女性の活躍創造プロジェクトチームです。

これまでの2期・6年間の活動の中では、ワーク・ライフ・バランスが実現できる働きやすい環境について検討を重ね、誰もが活躍できる職場環境づくりの推進に取り組んできました。

これまでの主な活動

- ・女性が輝くつばめプロジェクト推進事業の取組についての意見交換
- ・講座やセミナーの企画・提案
「女子会トーク」「スキルアップ講座」
「マイキャリア×ライフプランセミナー」
「女性活躍・ダイバーシティ推進フォーラム」など
- ・市内の女性活躍にかかる実態を調査
事業所・女性従業員対象アンケート
- ・つばめで働きたいひとを増やすための3つの提言
- ・働きやすい環境づくりに取り組む事業所へのインタビュー



※報告書の中では「活動☆つばめこまち応援隊」を「こまち」と略している部分があります。

■ 燕市への提言とその後の状況について

1. つばめで働きたいひとを増やすための3つの提言

こまち第1期の活動期間（2016～2018年度）における検討のまとめとして、2019年2月に市へ提言を行いました。

こまちが考える「女性が活躍する職場」＝「誰もが働きやすい職場」

⇒ 働きやすい職場にはよい人材が集まり、働き続けてくれる！

市に取り組んでもらいたいこと、市から事業所へ働きかけてもらいたいことを提言しました。

- 提言1 就業を継続できる環境・仕組みづくり
- 提言2 男女の役割分担意識の解消
- 提言3 経営者による明確なメッセージの発信

2. 提言のその後

(1) 提言の事業化について

こまちからの提言を受けて

こまち第2期の活動期間（2019～2021年度）において市が事業化に取り組んだことなど

こまち協働：こまちとの協働事業

つばめで働きたい人を増やすために

提言1
就業を継続できる
環境・仕組みづくり

◆つばめ子育て応援企業認定制度
企業のイメージアップを応援！

◆男性の育児休業取得促進奨励金
男性従業員の育児参加を応援！

提言2
男女の
役割分担意識の解消

◆マイキャリア×ライフプラン
セミナー こまち協働
若い世代がキャリアと
ライフプランを考えるきっかけに！

提言3
経営者による明確な
メッセージの発信

◆働きやすい環境づくりに取り組む
企業へのインタビュー こまち協働
市内5社の取組や工夫を取材！

◆取組事例集（小冊子）の作成、
市内企業等へ配布 こまち協働
身近な企業の取組を紹介！

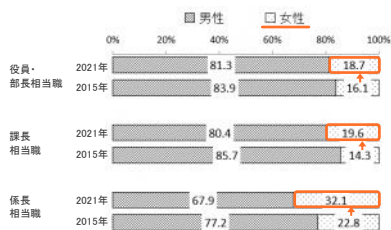
◆女性活躍・
ダイバーシティ推進
フォーラム
企業カアアップやマネジメントの
ヒントに！ こまち協働

◆みんなが活躍できる
職場環境づくり推進
補助金
働きやすい環境づくりを応援！

◆燕三条ものづくり
メッセへの出展
こまちブースで活動をPR！ こまち協働

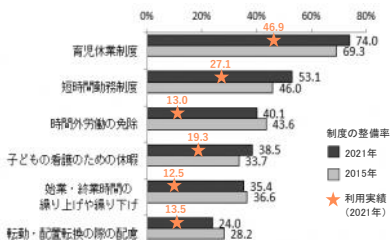
(2) データからみえること ～男女共同参画に関する事業所調査の結果から～

■ 管理・監督職に占める女性の割合



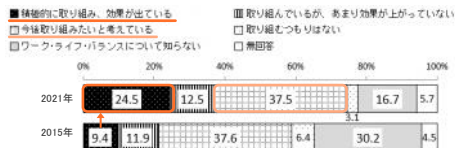
まだまだ男性の割合が多いが、女性の割合は着実に増えている。

■ 仕事と育児との両立支援制度の整備状況



少しずつ制度の整備は進んでいる。ただ、制度があっても利用されていない可能性も？

■ ワーク・ライフ・バランスの取組の実施状況



積極的に取り組む企業が増えている。「今後取り組みたい」も多い。

■ 男性の育児休業取得率

2.6% ▶ 18.8%

2015年 2021年

男性の育休取得率が上がった。ただ、男性の取得期間は短期間が多い。

出典：燕市「男女共同参画に関する事業所調査」報告書 (2015年度・2021年度)

(3) 実感していること ～こまちメンバーの意見交換から～

ワーク・ライフ・バランスはあたりまえとなった。イクメンはもはや死語？

提言などでこまちが先がけて言ってきたことについて、周囲でも気づく・意識する人が増えてきたように思う。

6年間で世の中が大きく変わった。こまちの活動を通じてその変化をより実感している。

女性の活躍に限定せず、今は性別や年齢を問わず、誰でも(ダイバーシティ)の時代となっている。

3. 今後に期待すること

活動☆つばめこまち応援隊が始動した6年前と比べると、社会全体の意識が大きく変化したように感じています。

法律の整備や行政・企業における地道な取組などの成果によって、ワーク・ライフ・バランスの考え方の浸透など、女性をはじめとした誰もが働きやすい職場環境の実現については一定の進展がみられました。

しかしながら、まだまだ旧態依然とした部分も多く、また新型コロナウイルスの影響により、もともと存在したジェンダー格差が顕在化しているなど新たな課題もみえています。

こうした現状を踏まえ、燕市においては、働くことを希望する女性とその希望に応じた働き方を実現できるよう、ひいては性別や年齢にかかわらず、誰もが多様な生き方、働き方を実現できるような社会の実現に向けて、引き続き着実な取り組みを推し進めていただきたいと思います。

この6年間にわたるこまちの活動・提言が、「つばめでイキイキと働く人を増やす」ための一助となりますと幸いです。

■ 活動☆つばめこまち応援隊メンバーからのコメント ～6年間の活動を通じて～

<p>このチームで、他では得難い大変貴重な経験を積みましたこと、言葉では言い表わせぬ程感謝しています。</p> <p>そして、ダイバーシティ推進が世の中の流れとなり、限定的な女性の活躍推進からの過渡期に立ち会えたようにも感じています。その潮目の変化をチームの皆さんと感じ取れたことは、大きな意味があったと言えます。</p> <p>このチームとのご縁を頂く時、次世代に思いを繋ぐ『語り部』を私はイメージしました。残念ながら世の中の意識はまだ旧態の部分も多いと感じますが、そういった観点からも、この先も何らかの発信を続けようと思っています。更に学ぶことを止めないで行動したいのです。</p> <p>最後になりましたが、活動☆つばめこまち応援隊の活動を通して、出会えた全ての方々に感謝申し上げます。本当に有難うございました。</p> <p style="text-align: right;">理研製鋼(株) 長岡センター 廣川 智美 (リーダー)</p>	<p>活動☆つばめこまち応援隊の一員として、業務上知り合う機会のない方々とお会いし、学ぶ機会をいただいたことに感謝しています。</p> <p>なぜ6年間も活動を継続できたのかを自分なりに振り返ってみると、メンバーはもちろん、事務局のみなさんや協力してくださった企業のみなさんによる他の尊重、歩み寄り、他の許容、限界までの努力があったからだと思います。この気づきを自分の心に置き、これからの職業人としての時間を過ごしていきたいと思います。</p> <p>私たちが取り組んできたことが、誰かの役に立ち、また、今すぐではなくても、いつか誰かの働き方・生き方を良い方向に変えていく…そんなふうになってくれると嬉しいです。</p> <p style="text-align: right;">燕市役所 子育て支援課 大塚 小由紀 (副リーダー)</p>
<p>6年間の活動を通し、自身のワーク・ライフ・バランスについても考える機会となりました。</p> <p>私生活では私が担っていた家事全般を、夫とも役割分担するなど、家庭内での男女の役割分担意識が少し解消する変化がありました！考え方を变えることは簡単ではありませんので、幼少期からの環境や教育は大切であると感じています。</p> <p>活動の一環で企業見学をさせて頂いたり、多職種のメンバーのみなさんの話を聞くことは新鮮でとても勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">社会福祉法人 吉田福祉会 入澤 美江子</p>	<p>6年間の活動で一番印象に残っていることは、働きやすい環境づくりに取組む企業への訪問インタビューでした。実際に社長様から話を伺うと、私たちが思っている以上に努力と工夫をして社員を大事にしていることが分かりました。</p> <p>社会全体にワークライフバランスの実現が重要視されてきている今、「女性が活躍する職場」＝「誰もが働きやすい職場」→良い人材が集まり、働き続けてくれる→企業が元気になる→町も元気になる。これからも、こまちが考えるこの取り組みを続けて欲しいです。</p> <p>最後になりますが、メンバーや地域振興課の方々との出会いは大切な財産となりました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">協栄信用組合 岡部 奈美子</p>
<p>燕市役所の方をはじめ、他企業の皆さんと交流できたことがとても嬉しかったです。</p> <p>燕市では働きやすい街づくりのために、企業に働きかけをしていくことに加え、フォーラムや交流会の開催、ホームページやLINEでの情報発信など個人へのサービスが充実していることを知りました。会社生活の中でもそうですが、自ら情報を得てライフプランを考えたし、制度の内容を理解するという行動も大切だと感じました。</p> <p>つばめこまち応援隊の活動に参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">パナソニック(株) エレクトリックワークス社 新潟工場 清水 麻子</p>	<p>つばめこまち応援隊として、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて！と進めてきた6年間の活動メンバーに参加でき本当にありがとうございました。</p> <p>燕市の“女性活躍”という目標から、全国的にも男性の家事育児参加が定着しつつある中で、“燕市で働く女性も男性も輝くまち”に変化していく様子が6年前のスタート時と大きく変わったことと思います。“ひとりひとりが自分らしく輝けるまち”の燕市になれるよう！これからも応援し、発信し続けていきたいです。</p> <p style="text-align: right;">(公財)燕西運動労者福祉サービスセンター 田辺 美香子</p>
<p>6年間にわたり、活動☆つばめこまち応援隊の活動に参加させていただき、ありがとうございました。人によって様々な考え方がある中で、「女性が活躍するってどういうことなのだろう？」と、頭を悩ませる場面も多々ありましたが、明るく前向きなこまちメンバーのおかげで、今日まで活動することができました。</p> <p>長いようであっという間の6年でしたが、少しずつ世の中の変化を感じています。私たちの活動を一つのきっかけに、燕市が、誰もがそれぞれの能力を最大限に発揮できるまちとなることを心から期待しています。</p> <p style="text-align: right;">燕市役所 商工振興課 山崎 聡子</p>	<p>こまちの活動に参加して多業種のみなさんと知り合うことができました。6年間にわたって活動ができたのもメンバーのみなさんのおかげです。大変ありがとうございました。市役所の中にいるだけでは分からないことをたくさん勉強させていただきました。</p> <p>また、それまでもあまり気にすることのなかった女性の働き方というテーマについて考える時間を持つようになったことが、自分の中でよい変化でした。</p> <p>すぐには成果が出ない課題だとは思いますが、地道に発信し続けることでさらに社会全体が変わっていくと信じています。少しでもイキイキと働く人の力になれるようこれからも取り組みたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">燕市役所 地域振興課 松井 寿子</p>

メンバーのみなさん、
ありがとうございました！



2022年3月

活動☆つばめこまち応援隊

事務局：燕市 企画財政部 地域振興課 協働推進係

電話 0256-77-8361 メール chiiki@city.tsubame.lg.jp